令和６年６月議会 補正予算

【概要版】

財　政　課

【令和６年度一般会計補正予算（第２号）の内容】

政策的事業に要する予算　7億6,198万円

政策的事業　7億6,198万円

Ⅰ　つながりづくり　1億3,310万円

〈スポーツ〉
・松江市総合体育館を新B1入会基準に適合したアリーナへ改修

Ⅱ　どだいづくり　3億6,892万円

〈健康・医療〉
・新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施

〈自然・環境〉
・堀川を管理する作業船の電動化による脱炭素化の推進

Ⅲ　なかまづくり　700万円

〈広域連携〉
・中海・宍道湖・大山圏域と台湾の交流を促進する人材の雇用
・日韓定期貨客船の運行支援による東アジア向けゲートウェイ機能の充実

Ⅳ　その他　2億5,296万円

・鉄工団地用地取得費　ほか

財　源　7億6,198万円

国庫支出金	2億　3万円
財産収入	8,024万円
繰入金	1億1,321万円
諸収入	3億5,610万円
市債	1,240万円

Ⅰ　つながりづくり
〈スポーツ〉

松江市総合体育館を新B1入会基準に適合したアリーナへ改修

新　～松江市総合体育館改修整備管理運営事業費～

事業費：1億3,310万円
財源：基金1億1,979万円、市債1,240万円

2026-27シーズン開幕に向けて、松江市総合体育館を新B1入会基準に適合するアリーナへ改修し、併せて機能強化を図るため、設計施工一括請負契約を締結する。

〇全体事業費　42億2,241万円
【内訳】　実施設計、改修工事　33億2,706万円
　　維持管理・運営　8億9,535万円

〇令和6年度事業概要

事業費：1億3,310万円
財　源：ふるさと松江だんだん基金、市債
内　容：実施設計

〇主な改修内容

- 観客席5,000席
- スイート・ラウンジ新設
- トイレ増設
- 飲食施設設置
- メイン・サブアリーナLED照明改修
- 温水洗浄便座改修

〇スケジュール

内容	時期
実施設計	令和6年7月上旬～7年3月末
改修工事	令和7年4月～8年8月末
運営期間	令和8年9月～19年3月末

（文化スポーツ部スポーツ課総合体育館整備室）

新型コロナウイルスワクチン定期接種の実施

新　～新型コロナウイルスワクチン接種事業費～
（予防接種事業費）

事業費：3億6,646万円、財源：国2億3万円ほか

新型コロナウイルスワクチンの令和6年秋冬接種を、高齢者等を対象に定期接種として実施する。

○高齢者等の新型コロナウイルスワクチン定期接種の概要

- 実 施 期 間：令和6年10月～令和7年1月（予定）
  （※高齢者向けのインフルエンザワクチン接種と同時期の実施を予定）
- 対　象　者：①65歳以上の人
  ②60歳から64歳で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害を有する人
- 接 種 回 数：上記の実施期間内に1回／人
- 自己負担額：3,000円（生活保護世帯は無料）
- 周 知 方 法：実施医療機関など詳細は市報とホームページにて周知

○注意事項

- 定期接種対象者以外の人や、上記期間以外での接種を希望する場合は、全額自己負担
- 集団接種は実施しない

（健康福祉部健康推進課予防接種室）

Ⅱ　どだいづくり
〈自然・環境〉

堀川を管理する作業船の電動化による脱炭素化の推進

新　～堀川美化事業費～
（河川維持管理費）

事業費：246万円、財源：基金

「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくりを推進するため、堀川の美化清掃のために使用する作業船を電動化し、作業時における環境負荷の低減を図る。

【事業費】　246万円

機器リース・購入　96万円
船購入　150万円

【財源】
ふるさと松江だんだん基金

令和6年8月頃
美化清掃作業開始予定

（※）堀川遊覧船の電動化は、HONDAとともに取組み、令和6年4月から一般乗船を開始

【作業船イメージ】

【電動推進機の特徴】

- カーボンニュートラルへの貢献
- 加速・制動・旋回の機能性

- 低騒音
- 低振動
- 排気ガスがない

- バッテリー交換可能
- 操作・メンテナンスの容易性

（都市整備部河川課）

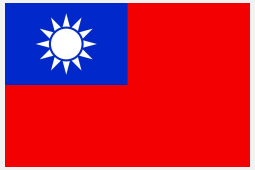
中海・宍道湖・大山圏域と台湾の交流を促進する人材の雇用

新　～台湾青年招致事業費～
（商工業振興対策事業費）

事業費：550万円、財源：諸収入550万円

「中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市との交流促進覚書」（令和4年10月締結）に基づき、ビジネス、観光、文化・スポーツ分野における交流を推進するため、高い専門性を持つ台湾の人材を採用する。

略歴



- 30代女性
- 台湾の大学院で日本研究の修士取得
- 日本へ留学し日本研究の博士取得
- 台湾人が日本ECサイトで商品を購入する際のサポートを行う日系企業（台北市所在）に勤務

圏域市長会・台北市交流促進覚書締結
（令和4年10月）

台北市立大学との交流
（令和6年2月）

雇用期間

令和6年6月～令和8年3月（予定）

担当業務

1．ビジネス連携推進

- 商談会参加、ビジネスマッチング支援
- 台湾向け商品の提案・開発サポート
- 圏域内商品のPR、輸出支援　など

2．観光交流

- 建国花市などのイベントやSNS等でのPR活動
- インバウンド誘客　など

3．文化・スポーツ交流

- 青少年を中心とした台北市立大学との交流
- 伝統工芸、伝統文化の広報・PR　など

Ⅲ　なかまづくり
〈広域連携〉

日韓定期貨客船の運航支援による東アジア向けゲートウェイ機能の充実

～中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（新産業創造課分）～
（中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金）

事業費：150万円

境港と東海港（トンヘ）（韓国）を結ぶ国際定期貨客船が令和6年8月から運航を再開（※）するのにあわせ、鳥取県と中海・宍道湖・大山圏域市長会が連携して運航経費の一部を支援し、航路の定着と安定化を図り、圏域のインバウンド拡大や貿易促進につなげる。

（※）平成21年6月～令和元年11月の約10年間運航したのち休航。運航会社がトゥウォン商船に変わり運航再開

運航概要

〇運航会社・貨客船
- トゥウォン商船（韓国・東海市）
- イースタンドリーム号（全長140m 定員530人 車両250台）

〇令和6年度運航予定
- 東海港～境港（土曜日9時入港→日曜日19時出港）
- 5月：試験運航、8月：正式就航（週1便）

イースタンドリーム号（鳥取県資料より）

支援内容

- 行政が1便につき100万円を支援（運航再開前と同様）
- 鳥取県：圏域市長会＝7：3で支援（運航再開前と同様）
- 圏域市長会負担金：1,170万円、うち松江市負担分：150万円

（産業経済部新産業創造課）

【令和５年度一般会計補正予算（第10号）の内容】

19億6,768万円

主な事業　19億6,768万円

Ⅰ　つながりづくり　16億　461万円

〈関係人口、副業・兼業人材〉
・ふるさと寄附金のふるさと松江だんだん基金への積み立て

Ⅱ　その他　3億6,307万円

・退職手当等職員人件費の増額補正	2億3,112万円
・市道の除雪等経費の増額補正	9,937万円

など

財　源　19億6,768万円

地方消費税交付金	▲1億8,547万円
地方交付税	7億1,846万円
財産収入	6,460万円
寄附金	15億8,970万円
繰入金	▲1億1,878万円
市債	▲1億5,330万円
その他	5,247万円

Ⅰ　つながりづくり
〈関係人口、副業・兼業人材〉

ふるさと寄附金のふるさと松江だんだん基金への積み立て

～ふるさとづくり寄附事業費、
ふるさと松江だんだん基金積立金～　　事業費：16億461万円、財源：寄附金15億7,003万円

ふるさと寄附金の増加に伴い、必要な経費（返礼品代金、ポータルサイト手数料等）及びふるさと松江だんだん基金積立金を増額補正する。

1．ふるさと寄附金（個人版）　補正

寄附金	（歳入）	6,903万円
必要経費（返礼品代金等）	（歳出）	3,458万円

2．ふるさと寄附金（企業版）　補正

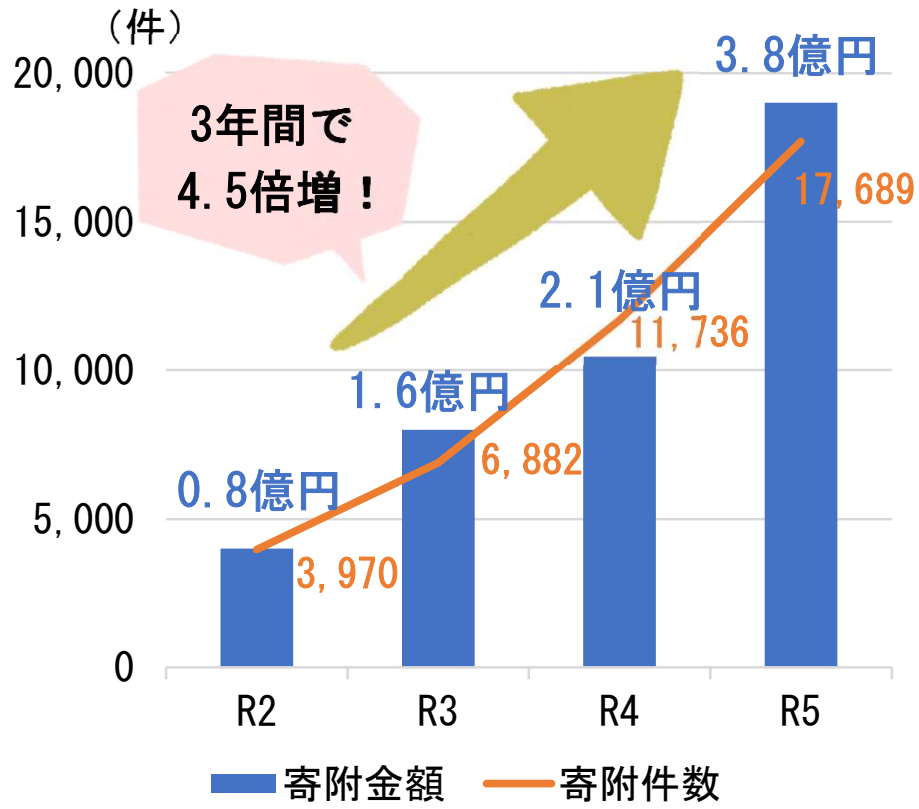
寄附金	（歳入）	15億　100万円

【対象事業】
- 総合体育館改修整備管理運営事業
- 「ものづくりアクションプラン」掲載事業

3．ふるさと松江だんだん基金積立金　補正

上記寄附金の合計、15億7,003万円をふるさと松江だんだん基金に積み立て、令和6年度以降、寄附者の意向に沿った事業に活用

【ふるさと寄附金（個人版）の推移】



（産業経済部商工企画課、新産業創造課、文化スポーツ部スポーツ課総合体育館整備室）